

提出金名： 世界エイズ・結核・マラリア対策基金提出金

国際機関等名	(略称)					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	外務省総合外交政策局国際社会協力部専門機関行政室					
最近3年間の我が国支払額及び提出率、ODA率						
	金 額				提出率(%) (注2)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	1,024,800	8,400		1\$ = 122円	8.5	100
平成13年度		(注1)				
平成12年度						
提出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2002年12月末のもの	
1位	米国		29.1			
2位	イタリア		11.5			
3位	日本		8.5			
4位	英国		8.3			
5位	フランス		5.5			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
世界エイズ・結核・マラリア対策基金は、2000年7月の九州・沖縄サミット、2001年4月の国連エイズ特別総会、同年5月のジェノバ・サミットを受けて創設された基金であり、世界の3大感染症であるエイズ・結核・マラリアの途上国における予防、治療、患者のケアを行なう国、国連機関及びNGOが実施するプログラムを資金面で支援するための基金である。(同基金の資金管理については世界銀行が行っている。)我が国は、1/18の投票権を有している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
2002年1月の発足間もない組織で、現在も内規、監査方法についての規則を制定中である。我が国は理事(外務省総合外交政策局国際社会協力部審議官又は参事官)としてこれらのプロセスに活発に参加。2003年予算の承認プロセスの中で、他の理事国とともに基金の合理化を促し、実現させた。						
邦人職員数 うち幹部以上	1 人 うち 1 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		72 人 1.4 %	
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
東アジア太平洋部長		斉藤 滋子				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注1) 我が国は本基金に対して2001年6月に2億ドルを提出表明しており、このうち財務省予算で25%、外務省予算で75%を手当てすることとされている。平成14年度の財務省提出分も含めた提出額合計は、80,403千ドルである。

(注2) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、提出率については暦年(2000年～2002年)。